

ダンブあきた

NO.398 全日本建設交運一般労働組合（略称・建交労）秋田ダンブ支部
 2020年2月5日発行 〒010-0976 秋田市八橋南1-2-29
 TEL018-823-7748 fax018-823-7751
 Email: kenkourouakita@bz03.plala.or.jp
 一人はみんなのためにみんなは一人のために、一人が一人の仲間をふやそう、労災保険に加入しよう
 田中 070 - 5324 - 4053



ダンブ冬タイヤの注文

再生タイヤ	22,000円 (BS)
	21,500円 (ヨコハマ扱い)
新品タイヤ	35,000円 (BS・14プライ)
	37,000円 (BS・16プライ)
	33,000円 (ヨコハマ)
	25,000円 (中国・トライアングル)

消費税・送料込みの価格です。注文の時、メーカーを必ずお知らせください。希望の場所に配達します。(配達代無料)

※県外への配達には運賃実費が必要です。代金は3回以内で納入します。

在庫確認が必要なので、注文の際に組合へ問い合わせてください。10月1日より、消費税分値上げになりました。なお、ヨコハマタイヤ販売店扱いは、弘進リトレッド製の再生タイヤとなります。

任意保険を自動車共済に切替えよう

安くて事故後のサービスも安心です。見積もりをしますので、事務所にまず電話を。

全国ダンブ部会第25回定期総会開催

1月26日～27日、東京で全国ダンブ部会が総会を開催し、のべ26人が参加しました。秋田ダンブ支部からは、高橋委員長と田中書記長が参加しました。総会は提案された議案を満場一致で採択し、森谷部会長ら役員を選出しました。また1日目に学習会をおこないました。「多発する自然災害への対処と地球温暖化の影響」と題して、元気象庁に勤務し、現在、日本気象予報士会会長・気象庁OBの気象春秋会会長の大西晴夫さん(73歳)から講演していただきました。総会で発言した高橋委員長の発言をのせました。



秋田ダンブ支部の高橋です。現在組合で就労している小繋トンネルでの現場の状況、また周りに与える影響などを話します。現場は、秋田県能代市二ツ井です。元請は東急建設、トンネルから出た掘削ズリを運搬しています。距離は、片道5km位で一日15～16回走っています。仕事を始めた頃は、トンネル掘削でハッパの音がうるさい(トンネルの入り口に扉を付ける対策をおこなった)、掘削機・ズリ運搬車・吹付機械などのトラブルがあり、休みの日が多くありました。一番ひどかったのは、お盆休みの前の日に雨台風が北海道を通過すると天気予報で報道したら、坑夫たちが「仕事なんかしている場合じゃない」と言って帰ってしまったことです。現在は、300m位掘削が進んでいて、工事は順調にはかどっています。しかし、いつトラブルがあってもおかしくない現場には変わりありません。工事のはべ1000台で建交労と合意し、12月現在、380台就労しました。当初は1日2台で配車を組んでいましたが、元請の要請で1台増やしてくれと言われ、現在は1日3台就労しています。また、組合以外のダンブは青ナンバーが1日4台入っています。この会社とは以前にも一緒に仕事した事があり、その時の元請会社が組合と運送会社との単価の差がありすぎると判断し、元請が運送会社に1日の単価・2000円を引き上げたこともありました。今回も組合の5万円の常用単価に合わせて通常の35000円から、3000円単価が上がったと聞いています。組合の単価は、周りに対して確実に影響を与えています。(ウラ面につづく)



交通安全推進団体の印
 組合のプレートを出して堂々と仕事をしよう

組合加入者の紹介を！

また他の良い影響もあります。私の専属会社、堀江建材は小繋トンネル工事現場に吹付工の碎石を納めています。最初、単価を決める時に「組合は一日5万円の単価でトンネル現場で就労していますよ」と常務に言いました。そして「今は5万円位もらわないと車の手形を払い、人並みの生活が出来ません。今のダンプは経費が随分とかかります」と続けました。さらに全国ダンプキャラバンのパンフレットを見せて交渉し、一日5回走って36000円位が碎石単価の相場なのですが、1回500円5回・2500円の単価を上げてもらい、1日38500円、税込で4万円以上になりました。また、トンネル近くの他の会社の現場の運搬代も同じように2~3000円上げてもらいました。近くでの現場で直工費並みの単価で仕事をしていれば、他の場所の単価を上げやすいと実感しました。もっと組合の使用促進現場があれば市場単価の改善がおこなわれ、組織拡大にもつながっていくと思います。

単価交渉はいつも常務としていますが、「何でダンプの単価は毎年上がるのか」と聞かれ、先ほども言いましたがパンフレットに書いてある事を説明して納得してもらっています。しかし常務は、「碎石は運賃込みの値段で契約している。今、東急建設のトンネル現場に納めている碎石代は、m³あたり3300円で買ってもらっているけれど、碎石の積算では3100円にしかならないし、2000円高く買ってもらっているのが現状だ」と言います。「3100円の積算では、距離10キロの単価しかならないし、大袈裟に言えば50キロ離れている現場でも同じ単価で契約しなければならない。碎石も運賃と分けて契約出来ればなあ」と、こぼしています。同時に「そうして碎石を納める所から多く運賃をもらえれば、ダンプに高い運賃を支払う事が出来るけど」と言ってくれました。私は、「国交省が出している施工パッケージ型積算方式みたいに、碎石・運賃をキロ単価に分けるように物価調査会や経済調査会に要請してみればいい」と言いました。実際、常務の話では「林野庁は、4年位前から碎石と運賃を分け10

キロまで同じ積算で、後は1キロ単位で積算されている」みたいです。常務には、自分が何か役に立てる事があればいくらでも協力しますと言いました。組合と会社とコミュニケーションをとりながら、雑談や交渉などしていけばお互いが良くなると思います。



令和、カジノ逮捕第1号

組織拡大についてですが秋田ダンプ支部の現状は、75人の組合員です。そのうち車持ちは半分、残りの半分は、運転手や建設一人親方です。現在仕事はありますが、自分でダンプを持って始める人はほとんどいないです。また対象者は結構いますが、なかなか組合のことを理解してくれません。今がチャンスなので努力して組織拡大します。

最後に要望です。車持ちダンプ運転手が1日に貰える単価の諸雑費（まるめ）の所を書き直してもらいたいと思います。自分の車で去年は80万円近く（車検代・修理代・部品代など）かかりました。昔のダンプと違って今のダンプは排ガス規制のため取り替える部品が多く、年間何十万円も経費が必要な状況です。例えば2年・10万キロで部品交換しなければならないとか言われます。よろしくお願いします。



STOP 石炭火力 自然エネルギーに転換を
守ろう! 地球の未来